

報道関係者各位

2011年5月27日 早稲田塾

日本初、高校生を対象とする「本格マネジメント教育プログラム」を開講

早稲田塾が、次世代のリーダーを育成するため、
米国ドラッカースクール及びドラッカーインスティテュートと
特別ライセンス契約を締結

早稲田塾（東京都千代田区）は、ドラッカースクール及びドラッカーインスティテュート（米国カリフォルニア州・クレアモント大学）と特別ライセンス契約を結び、現役高校生を対象とした「ドラッカープログラム」（正式名称：「Drucker for Future Japanese Leaders Program」）を、7月より開講。8月上旬には、米国ドラッカースクールにおいて5日間の短期集中カリキュラムを受講します。

「マネジメントの父」と称される、ピーター・ドラッカー氏。組織やチームを構成する「人」に焦点をあて、人を主軸とした独自の経営論を展開。これまで多くの日本の起業家やビジネスパーソンをとりこにしてきました。氏は、マネジメントとは、「人としていかに生き、他者と関わり、成果を得るのか？」という、「生き方の選択」であると説きます。

こうしたドラッカー氏の提唱する理念をもとに、ドラッカーインスティテュートが、これまで大学院生やビジネスのエグゼクティブを対象に展開してきたカリキュラムを、高校生向けプログラムとして開発。ドラッカーの名を冠した唯一の「マネジメントスクール」、ドラッカースクールを舞台に、日本初の高校生向けマネジメント教育プログラムとして開講されます。

このプログラムの目的は、自ら設定した目標のために、ドラッカーのセオリーを実戦し、夢をかなえようと行動する次世代リーダーの育成です。ドラッカースクール及びドラッカーインスティテュートに所属する教授陣が、ドラッカーの『The Five Questions Framework』（邦訳書名『経営者に贈る5つの質問』）のコンセプトに基づき、高校生を直接指導。実習やディスカッション、フィールドワークなどを交え、コミュニティに存在する問題の解決策を探するなど、マネジメントについて実践的に学ぶプログラムとなります。

日本初となる本プログラムを、貴メディアにてぜひ取材頂けるよう、お願いいたします。説明会へのご参加、現地取材についてもお気軽にお問い合わせください。



問合せ先》

早稲田塾（本部） 広報担当： 赤坂俊輔・大野美香

〒102-0085 東京都千代田区六番町 6 番地 4

Tel. 03-3222-1175（直） Fax. 03-3222-1185

<p>《期間・会場》 「プレ・プログラム」と「本プログラム」の2部で構成されます。</p> <p>[プレ・プログラム] 期間：2011年7月25日（月）・26日（火）・27日（水） 計3日間 会場：早稲田塾 秋葉原校/東京</p> <p>[本プログラム] 期間：2011年7月31日（日）～8月7日（日） 計8日間(講義期間は5日間) 会場：ドラッカースクール/米国</p>

《対 象》	高校1～3年生
《定 員》	20名程度
《場 所》	米国・カリフォルニア州 ドラッカースクール（クレアモント大学） および 早稲田塾 秋葉原校
《使用言語》	プレ・プログラム：日本語及び英語 本プログラム：英語
《申込み方法》	早稲田塾公式サイト（ http://www.wasedajuku.com/ ）より、エントリーシートをダウンロードし、必要事項をご記入の上、下記住所に郵送をお願いします。 応募多数の場合は、エントリーシートにもとづいた審査を行います。 ●エントリー締切： 2011年6月21日（火） 必着 ●郵送先： 〒102-0085 東京都千代田区六番町6の4 早稲田塾 総合研究所 DFLP 担当
《費 用》	受講料（本プログラム&プレ・プログラム）その他、渡航費用・滞在費・現地交通費等を含め598,000円（税込）を予定
《説明会》	早稲田塾 秋葉原校にて、詳細をお伝えする説明会を実施します。 ■日時：2011年6月5日（日） 15:30～17:00 ■会場：早稲田塾 秋葉原校

【プログラム概要】

【早稲田塾について】

1979年に誕生した「現役高校生のための塾」のパイオニア。現在、東京・神奈川に15校舎、および5つの専門指導館を展開する。次代を切り拓くリーダー人財の育成を教育理念に掲げ、単なる大学合格ではなく「一生モノの学力」を鍛える教育活動を実施。個々の可能性を広げる進路発見指導、大学教授や有識者と共同で創るプログラム、高い水準のカリキュラムなどが評価され、オリコンによる「顧客満足度の高い塾・予備校ランキング」で5年連続1位を獲得している。

【ピーター・F・ドラッカー (Peter F. Drucker) について】

1909年11月19日～2005年11月11日。ビジネス界にもっとも影響力をもつ思想家であり経営学の巨人。個人としての「人」と、社会的存在としての「人」のあるべき姿を追求することで、マネジメントの理念と手法を確立。「目標管理」「情報化」「コアコンピタンス」など、多くのマネジメントのコンセプトを生み出し「マネジメントの父」と称される。1909年、ウィーンに生まれ。フランクフルト大学卒。1971年以降は、米国クレアモント大学院教授として多くの著作とコンサルティング活動を展開した。

【ドラッカースクールとドラッカーインスティテュートについて】



ドラッカースクールは、ドラッカーの名を冠した唯一の「マネジメントスクール」で、正式名称は、Peter F. Drucker and Masatoshi Ito Graduate School of Management。ドラッカー自身も35年間教鞭をとり、「人」を主軸とするマネジメント論をもとに、リーダーに求められるジェネラル・マネジメントについて焦点をあてた教育を行ってきた。現在は、ドラッカーの精神を引き継ぎ、MBAを始めとするマネジメント分野を中心とした大学院レベルのコースやエクゼクティブ向けのプログラムを展開している。



ドラッカーインスティテュートは、ドラッカー研究の世界的中心を担い、ドラッカーの残した学問的な遺産を守るだけでなく、現代社会に存在する数々の問題の解決策としてドラッカーのセオリーを提案するシンクタンクであり、アクションタンク。より効果的なマネジメントとリーダーシップを広めることによって社会に貢献することを目的としている。

今回は、ドラッカーインスティテュートが開発したカリキュラムを、ドラッカースクールにおいて、日本初の高校生向けプログラムとして実施する。

